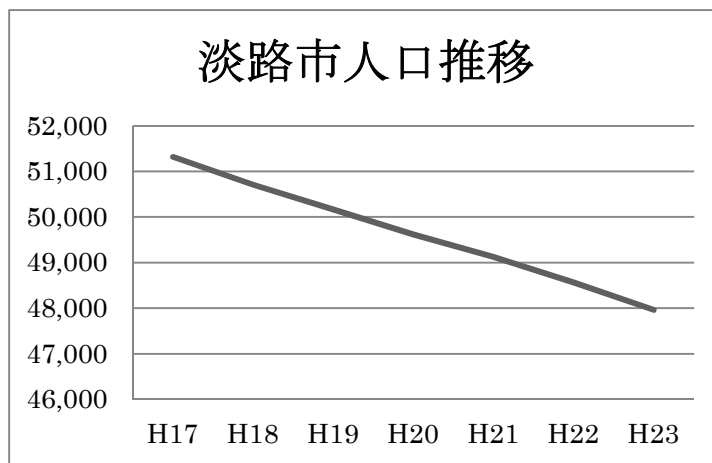


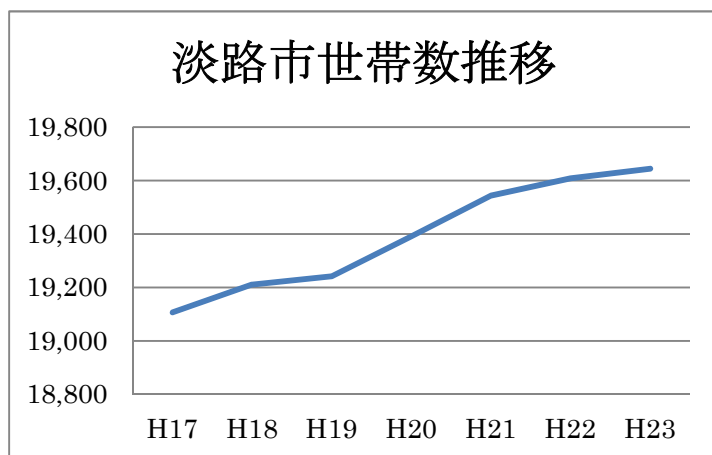
# 淡路市の不動産市場概況

## 1. 広報統計

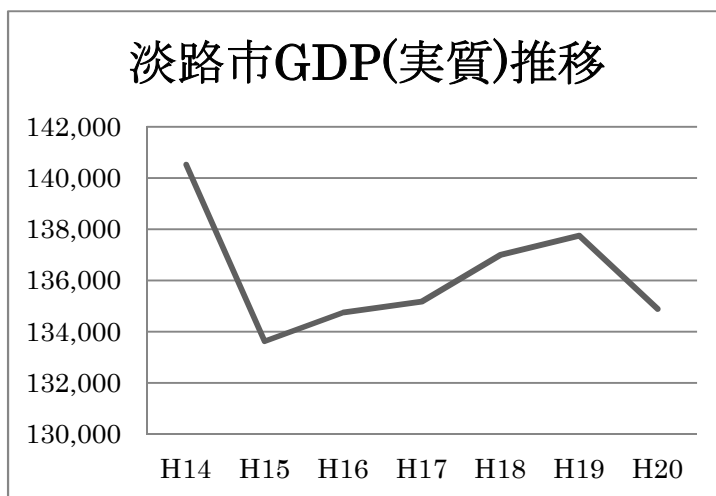
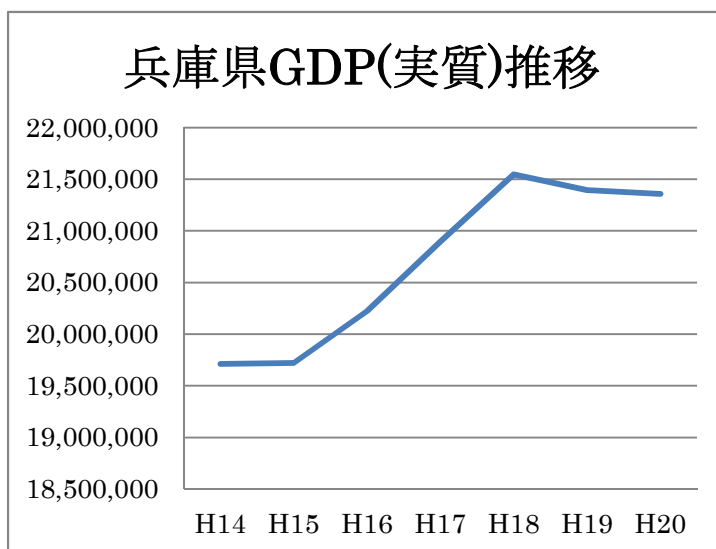
### (1) 淡路市人口推移



### (2) 淡路市世帯数推移



### (3)GDP(実質)推移



### (4)コメント

淡路市に於いては人口の減少と世帯分離が続いているようである。

H20年までの資料であるが、淡路市の景気については兵庫県全体と類似した推移の仕方のようなのである。

## 2.地元不動産業者聴取

不動産市況は冷え込んでおり、持ち直し感が乏しいというのが大方の意見のようである。

島内でも人気が高い東浦地区については、従来から島内以外にセカンドライフを求めて本土からの需要も多い。当該地区について実際には津波の被害がなかったため、島民にとっては影響がないものの、東日本大震災後本土からの需要が大きく落ちている。

また生穂新島において、ジャスダック上場の東洋合成株式会社（5ha）の進出があるも（2010年操業予定）、不動産の波及需要は考えにくいとのことである。

## 3.コメント

淡路市においては不動産市況の低迷が続いているが、島内では依然として持ち直し要因が見出しにくい状況にある。

(2011.10.14 あいき不動産鑑定株式会社 土田剛司)